

メイキング・オブ・ムナカタ

# Munakata Shiko



メイキング・オブ・ムナカタ

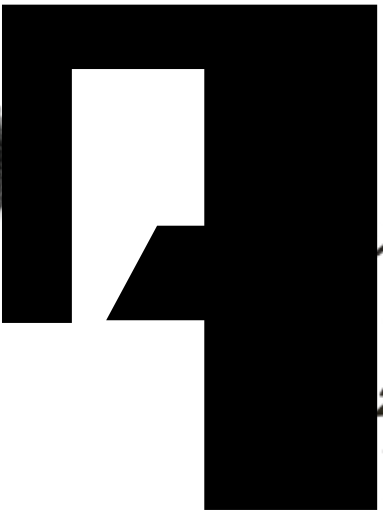
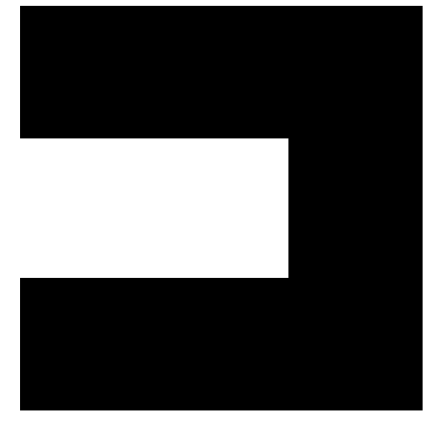


The Making of Munakata Shiko: Celebrating the 120th Anniversary of the Artist's Birth

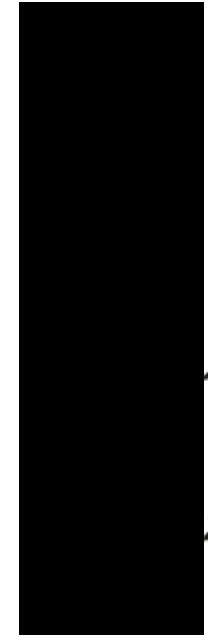


# Munakata Shiko

The Making of Munakata Shiko: Celebrating the 120th Anniversary of the Artist's Birth



生誕120年 棟方志功展



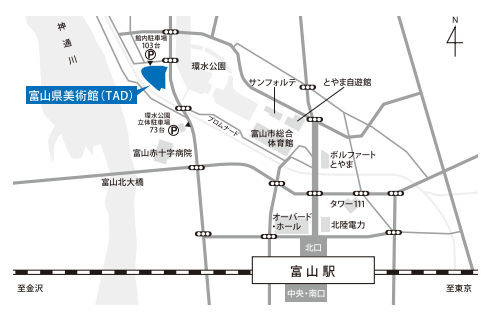
生誕120年 棟方志功展



富山県美術館開館5周年記念 生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ  
2023.3.18(土)-5.21(日) 前期 3.18(土)-4.18(火) 後期 4.20(木)-5.21(日) 9:30-18:00(入館は17:30まで) 休館日=毎週水曜日(5/3は開館)  
※会期中、一部作品の展示替えを行います。  
【主催】富山県、棟方志功展実行委員会(富山県美術館、北日本新聞社)、NHK富山放送局、NHKエンタープライズ中部 【特別協力】棟方志功記念館  
【協賛】DNP大日本印刷/新日本コンサルタント、タイト、立山科学グループ、トヨタモビリティ富山、日の出屋製菓産業(五十音順)  
Toyama Prefectural Museum of Art and Design 5th Anniversary The Making of Munakata Shiko: Celebrating the 120th Anniversary of the Artist's Birth  
March 18-May 21, 2023 Opening Hours: 9:30 AM - 6:00 PM (Last admission is 5:30 PM) Exhibition Closed: Wednesday (Except May 3rd)  
上段《法林経水繪巻》(部分) 1945年 個人蔵 / 中段左・中央《門舞男女神人顔》「倭建命」・「建速須佐之男命」1941年 個人蔵 / 中段右《華狩頌》1954年 棟方志功記念館蔵  
下段左《ホットマン詩集抜粋の輪》「GIVE ME THE SPLENDID SILENT SUN」1959年 棟方志功記念館蔵 / 下段右 棟方志功ポートレート(部分) 撮影:原田忠茂



Access  
● 富山駅北口から…徒歩 約15分 / タクシー 約3分 / バス 1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ  
● 富山空港から…タクシー・車 約20分(約9km) ● 北陸自動車道から…富山I.C. から国道41号経由 約15分  
※美術館の駐車場(8:00-22:30)は限りがあり、土日祝は混雑が予想されます。  
お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。満車の際は、環水公園立体駐車場など周辺駐車場をご利用ください。  
富山県美術館 〒930-0806 富山市木場町3-20  
Toyama Prefectural Museum of Art and Design 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan  
tel.076-431-2711 fax.076-431-2712 https://tad-toyama.jp/  
上段《華嚴松》1944年 光徳寺蔵 / 下段左《自画像》1964年 パラミュージアム蔵 / 下段右 棟方志功の眼鏡 個人蔵



N 4

「世界のムナカタ」として国際的な評価を得た版画家・棟方志功(1903-1975)。一心不乱に板木に向かう棟方の姿は、多くの人々の記憶に刻み込まれています。棟方が居住し、あるいは創作の拠点とした青森、東京、富山の三つの地域は、それぞれに芸術家としての棟方の形成に大きな影響を与えました。棟方の生誕120年を記念し、各地域の美術館(当館、青森県立美術館、東京国立近代美術館)が協力して開催する本展では、棟方と各地域の関わりを軸に、板画、倭画、油彩画といった様々な領域を横断しながら、本の装丁や挿絵、包装紙などのデザイン、映画・テレビ・ラジオ出演に至るまで、時代特有の「メディア」を縦横無尽に駆け抜けた棟方の多岐に渡る活動を紹介し、棟方志功とはいかなる芸術家であったのかを再考します。

# 棟方志功展

生誕120年



棟方志功ポートレート 撮影：原田忠茂



《雑華山房主人像図》1942年 青森県立美術館蔵 / 丸眼鏡が印象的な自画像。棟方は数多くの自画像を残している。



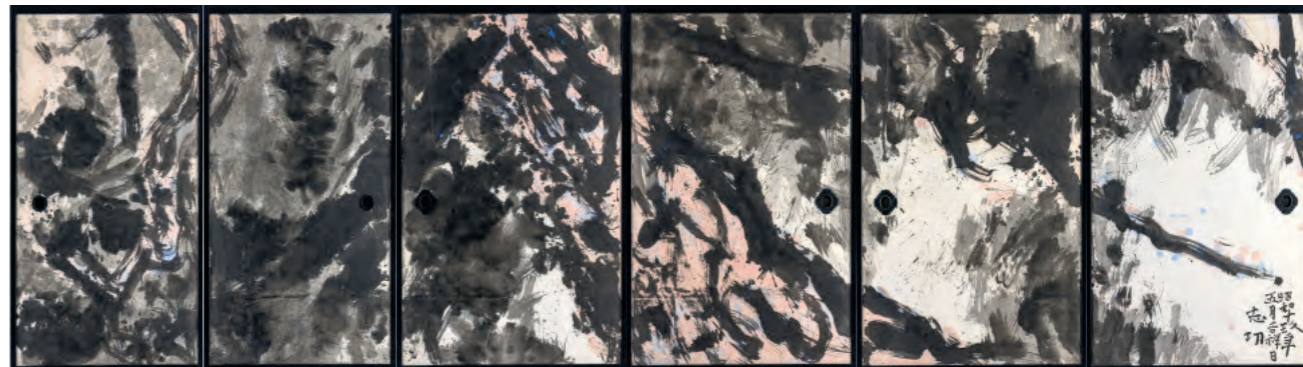
《法林経水焰巻》(部分) 1945年 個人蔵 / 福光駅から当時の棟方の住まい(光徳寺の分家)までの道のりを描いた作品。



《門舞男女神人頌》「多紀理毘賣命」 1941年 個人蔵 / 日本武尊以前の混沌たる世界の人物を表した16点組の作品のひとつ。



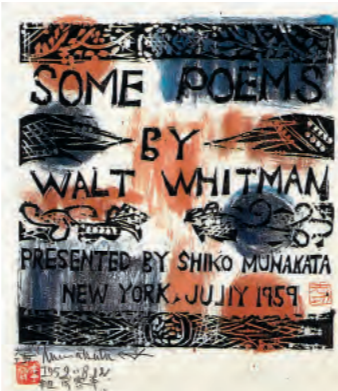
《花矢の柵》1961年 青森県立美術館蔵 / 青森県庁舎の竣工を記念して、壁画として制作された版画作品。



《華厳松》1944年 光徳寺蔵 / 福光疎開に先駆けて、光徳寺で制作された倭画(肉筆画)の傑作。



《大和し美し》「倭健命の柵」1936年 日本民藝館蔵 / 日本武尊の一代記を詠った佐藤一英の長編詩がモチーフ。国画会展への出品が、柳宗悦ら民藝同人との出会いのきっかけとなる。



《ホイットマン詩集抜粋の柵》「SOME POEMS BY WALT WHITMAN」 1959年 棟方志功記念館蔵 / 初めての滞欧米中に制作された作品。



『現代童話集』(棟方志功装丁) 1934年 個人蔵  
棟方は生涯で数多くの本の装丁、包装紙のデザインも手掛けた。



『鍵』(谷崎潤一郎著・棟方志功装丁) 1956年 個人蔵



勝烈庵 包装紙



《二菩薩釈迦十大弟子》1939年 東京国立近代美術館蔵 / 二菩薩の版木は戦災で灰燼に帰したため戦後に改刻されている。ヴェネツィア・ビエンナーレなどにも出品され、代表作として知られる。  
※4月20日から展示予定。4月18日までは、日本民藝館蔵の作品をご覧いただけます。

## 富山県美術館開館5周年記念 生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ

会 期 2023年3月18日(土) - 5月21日(日)  
前期 3.18(土)-4.18(火) 後期 4.20(木)-5.21(日)  
開館時間 9:30 ~ 18:00(入館は17:30まで)  
休 館 日 毎週水曜日(5月3日は開館)  
会 場 富山県美術館 展示室2、3、4

観覧料 Fee for special exhibition

一般 Adults	¥ 1,500(1200)
大学生 College students	¥ 1,000(800)
高校生以下 High school students or younger	無料 Free
一般前売り Advance tickets	¥ 1,200

※( )内は20名以上の団体料金 ( )=Fee for group tickets  
※企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。  
※各種手帳をお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料  
※学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料  
※「リピーター割」や「クマ割」を実施中。詳細については、ホームページをご覧ください。  
○前売り券販売所(3月17日(金)まで販売)＝富山県美術館、富山県水産美術館、北日本新聞社本社・西部本社・各支社・販売店、富山大和、アーツナビ、BOOKSなかだ、文苑堂書店、明文堂書店、セブンチケット、ローソンチケット(LJコード:54756)など

ご来館される皆様へ  
○ご来館の皆様には、マスクの着用 / 適切な距離の確保 / 咳エチケット / 風邪症状がある場合のご来館自粛など、新型コロナウイルス感染症防止にご協力いただけますようお願い申し上げます。  
○土日祝などに混雑が発生した場合には、入場制限を行う場合がございます。  
○記載内容は都合により変更する場合があります。当館ホームページ、SNS等をご確認の上ご来館されることをお勧めいたします。

会期中のイベント  
会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS、北日本新聞紙面等でお知らせします。

次回企画展  
『前衛』写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄  
2023年6月3日(土) - 7月17日(月・祝)

同時開催  
アーティスト@TAD 袴田京太郎「複製する(陰の彫刻)」  
2023年3月18日(土) - 5月28日(日) 1階TADギャラリー(無料)  
公開制作 / 2023年3月19日(日) ~ 26日(日) 2階ホワイエ(予定)  
※制作後、作品は5月28日(日)まで展示